

お出かけください 文化施設巡り 14

このコーナーでは、豊岡市立の文化施設を巡り、紹介します。

竹野で栄えた船主の館

住吉屋歴史資料館

おようじかん
(御用地館)



- 所在地 豊岡市竹野町竹野422 ☎47-1555
- 開館時間 9:00～17:00 (ただし、母屋は22:00まで)
- 休館日 毎週水曜日
- 入館料 無料
- 【仲田光成記念館・土蔵ギャラリー】
- 入館料 大人300円、子ども150円



▲当館館長の沼田恒夫がご案内します。

300年以上の歴史を持つ住吉屋は、文化3年には、伊能忠敬が全国測量の宿として、また翌4年には、儒学者の柴野栗山がここを訪れて、書を残しています。

明治時代になると、北前船「栄寿丸」の船主として大きな財力を成し、その後も酒造、郵便局、鉱山など手広く商売をしていました。

通りに面した建物は、当初の姿に復元し、中庭にあった土蔵をギャラリーにしました。また、日本のかな書道界の重鎮、仲田光成さん(竹野町松本出身)の記念館もあります。建物の愛称は「御用地館」。この辺りの昔ながらの呼び名をとって名付けました。

皆さん、ぜひ、当館でゆったりとした時の流れを感じてください。



▲土間・憩い土間

竹野の特産品やお土産の販売、喫茶、季節の品々でもてなします。



▲母屋

作りは「田」の字型。障子を開け放つと一つの空間が広がります。柴野栗山の「脱満」の書がふところ広く迎えてくれます。



▲離れ

街のにぎわいを忘れさせてくれる場所に、炉を切って茶室を設けました。三帖の茶室とともに、静寂のひとつときが流れます。



▲オープンギャラリー

土蔵の白い壁を背に、写真を展示しています。懐かしい風景に出合える空間です。



▲土蔵ギャラリー

住吉屋で使われていた江戸時代からの民具を展示しています。当時の生活の息遣いを感じることができます。



▲仲田光成記念館

日本のかな書道界の重鎮、仲田光成さんの偉業を記念した館です。多くの自書作品を展示しています。